

平成 20 年度における概況

1 上水道事業

平成 20 年度末の事業数は 33 であり、うち 32 が稼動している。

全事業の計画給水人口は、1,904,306 人となっており、現在給水人口は 1,776,681 人で昨年より 47,908 人 (2.77%) 増加している。

年間給水量は、259,129 千 m^3 で、前年度より 6,247 千 m^3 (2.35%) 減少しており、実績 1 日最大給水量も 838,097 m^3 で、前年度より 3,641 m^3 (0.43%) 減少した。

給水収益は、37,411,310 千円で、前年度より 19,398 千円 (0.05%) 減少し、給水人口 1 人あたりの水道料金負担額は、年間 21,056 円となっている。

年間取水量は 264,587 千 m^3 で前年度より 7,740 千 m^3 (2.84%) 減少し、取水量に対するロス率は 2.1%、有収率は 87.3%である。年間有収水量を用途別に見ると、最も多いのは生活用の 143,120 千 m^3 で、次いで営業用の 27,079 千 m^3 となっている。

供給単価は 165 円/ m^3 で、前年度より 4 円/ m^3 増となっている。

2 簡易水道事業

箇所数は 127 で、うち 127 が稼動している。現在給水人口は 98,169 人で前年度より 4,431 人 (4.32%) 減少し、年間給水量は 14,605 千 m^3 で前年度より 883 千 m^3 (5.7%) 増加した。

1 日平均 40,012 m^3 を給水しており、前年度より 2,306 m^3 (5.45%) の減少となった。

年間有収水量は 12,002 千 m^3 で前年度より 628 千 m^3 (4.97%) 減少し、有収率は 82.2%であった。

3 専用水道

専用水道施設は 120 であり、現在給水人口は 53,910 人である。

120 施設のうち、水源が「自己水源のみ」のものが 60 施設で現在給水人口は 12,942 人、それ以外の「他の水道事業から給水を受けている」ものは 60 施設で現在給水人口は 40,968 人である。